

Part

2



かいご しごと ひつよう
介護の仕事に必要な

ちしき ぎじゅつ
知識と技術

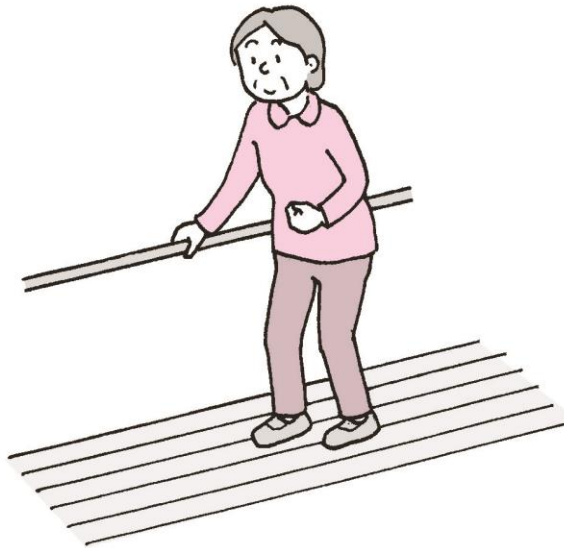
Chapter

1

い どう かい ご 移動の介護

い どう い ぎ 移動の意義

食事、入浴、掃除、洗濯などの日常生活、仕事をする、友達と会うなど、私たちは自分の体を移動させて、生活しています。社会生活に、移動は必要です。人は動かないでいると、筋力が弱くなって、立つことが難しくなります。ベッドで寝ている生活が続くときにも、姿勢を変えて体を移動させると、体力の低下を防ぐことができます。



ことば い み 言葉の意味

【意義】……言葉が表す意味、価値

【価値】……どのくらい大切か、どのくらい役に立つか

【筋力】……筋肉の力

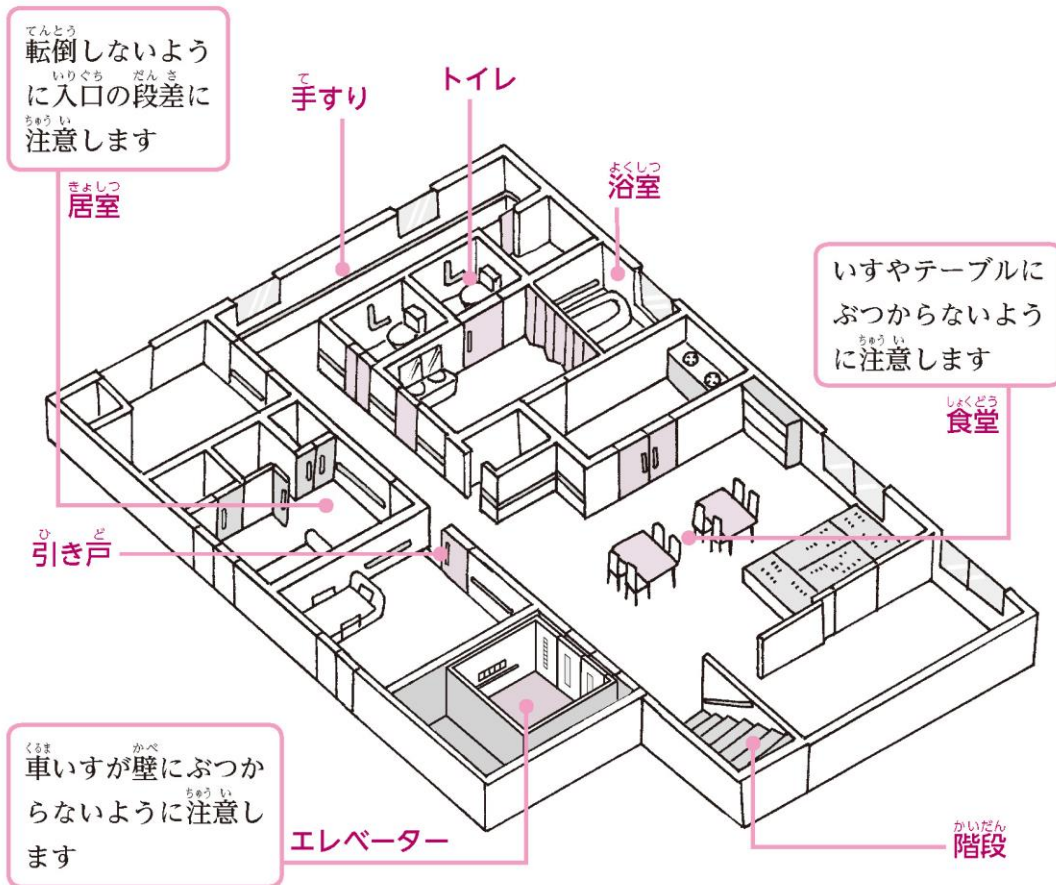
【姿勢】……体の形

【低下】……弱くなること

【防ぐ】……ならないようにすること

1 移動の介護に必要な知識

移動をする環境

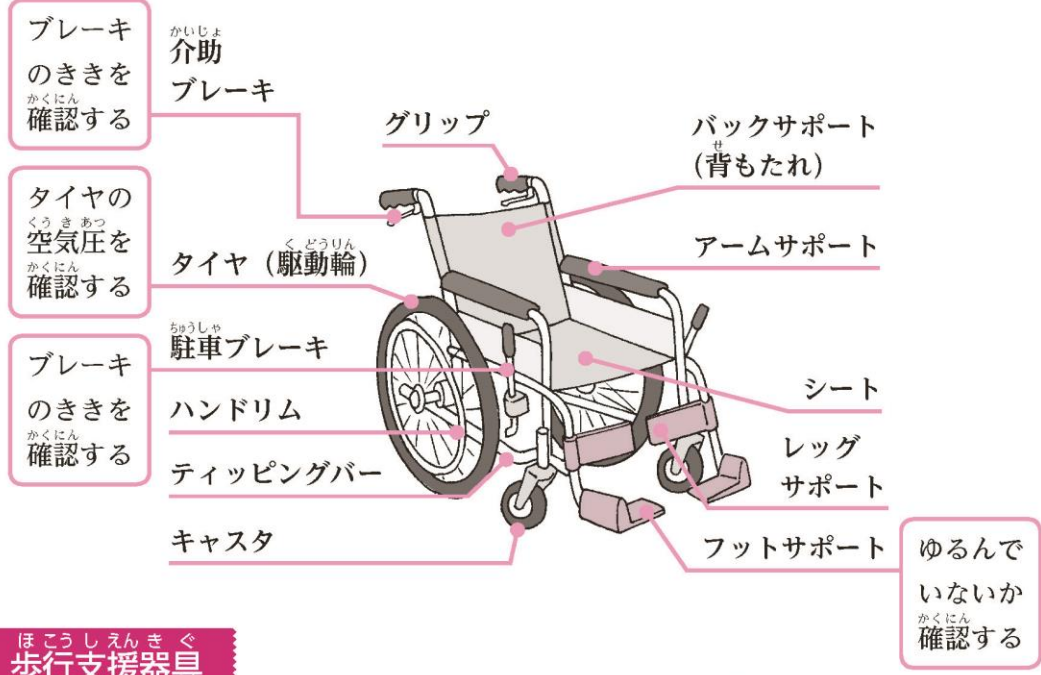


言葉の意味

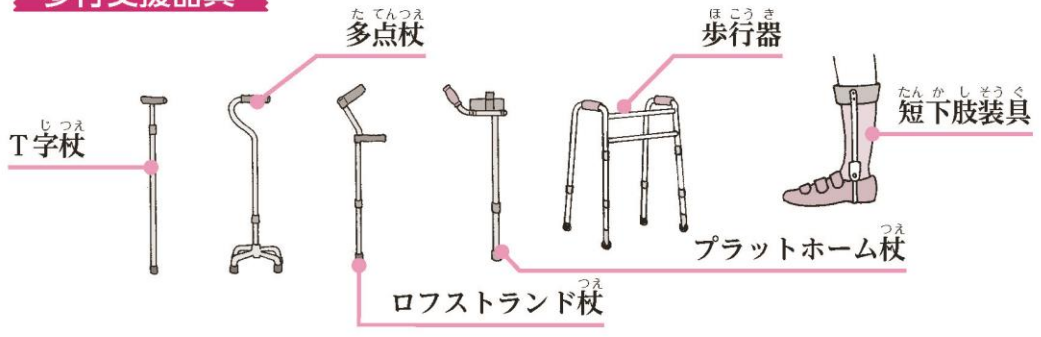
【転倒】……転んで、体の一部が床につくこと

移動で使う道具

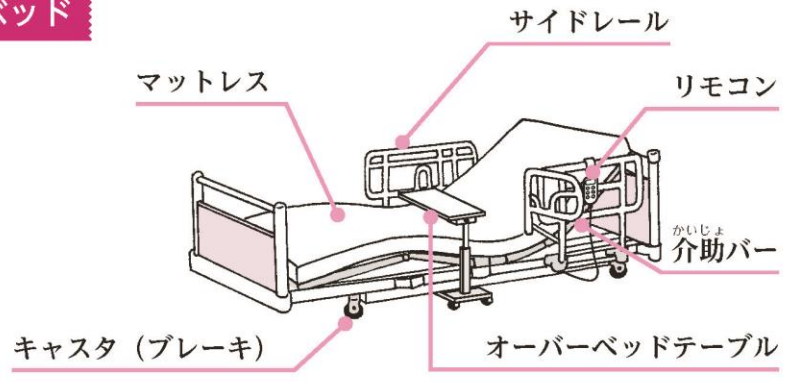
くるま 車いす



ほこうしえんきぐ 歩行支援器具



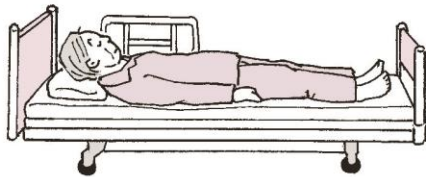
ベッド



2 移動の介護の流れ

仰臥位からの立ち上がり

仰臥位



ベッドに寝て、あおむけの姿勢



患側（麻痺や痛みがある部分）

仰臥位→側臥位
・利用者の肩と腰を支え、体の向きを変えます。

側臥位

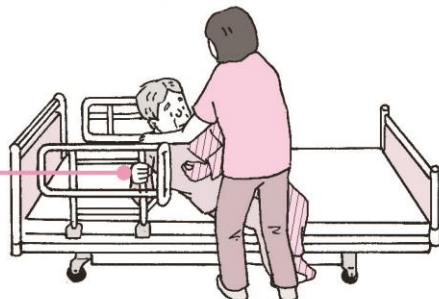


体が安定する形

ベッドに寝て、横を向いた姿勢



つかむ



クッションやタオルを使用すると、側臥位が安定します。

側臥位→端座位
・利用者にサイドレールをつかんでもらいます。
・利用者を支え、起き上がりを介護します。

たんざい
端座位

ベッドの端に
座る姿勢



足の裏を床に
つけます。



サイドレールやベッドに手
を置いてもらおうと端座位が
安定します。

たちあがり
立ち上がり



端座位→立ち上がり
利用者に介助バーをつかんで
もらいます。

自分で歩くとき
自分で歩くとき

りつい
立位



立位は不安定なの
で、利用者の姿勢
を安定させます。

てつか
手すりを使った歩行



つえほこう
杖歩行



転倒しないように
患側から利用者を
見守ります。

ことば
言葉の意味

【見守る】……危なくないように気をつけること

くるま つか 車いすを使うとき

くるま いじょう 車いすへの移乗



りようしゃ あし
利用者の足を
フットサポー
トの上に乗せ
ます。

りようしゃ て
利用者の手を
アームサポー
トの上に乗せ
ます。

くるま そうこう 車いすの走行



かべ
壁にぶつから
ないように移
動します。

と
止まっている
ときは、車い
すのブレーキ
をかけます。

あんせい ひつよう 安静が必要なとき

はんざい 半座位

お
45° 起こす



じょうはんしん お
上半身を45° 起こして
すわ しせい
座る姿勢

ことば いみ 言葉の意味

なが
【流れ】…… 順序のこと

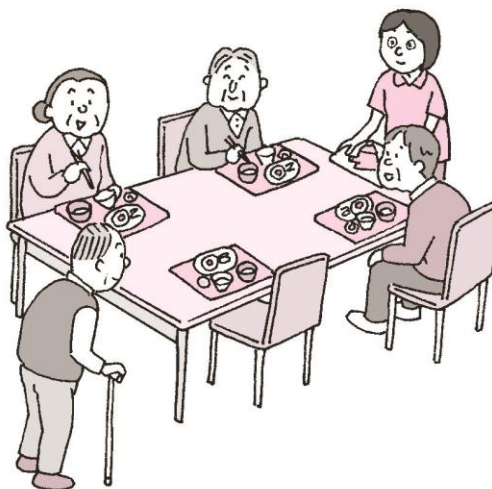
ととの
【整える】…… きちんとして

Chapter 2

しよく じ かい ご 食事の介護

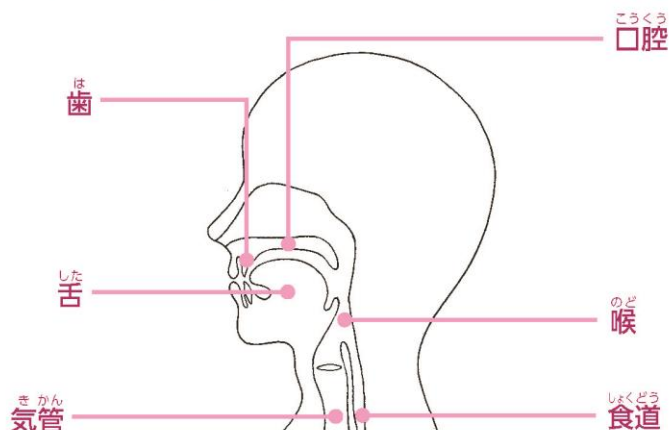
しよく じ い ぎ 食事の意義

しよく じ えい じょう た
食事は栄養のあるものを食べて、
けんこう たも もくてき
健康を保つことが目的です。
しよく じ たの せい かつ
食事を「楽しむ」ことで、生活も
たの しく なります。食事は他の人と
いっしょに「楽しむ」ことができ、
たいせつ ばいしょ
大切なコミュニケーションの場所にも
なります。
き じ かん しよく じ
決まった時間に食事をするので、
いちにち せい かつ じ かん ととの
一日の生活時間を整えることもでき
ます。



1 しよく じ かい ご ひつ じょう ち し き 食事の介護に必要な知識

しよく じ かん けい からだ
食事に関する体

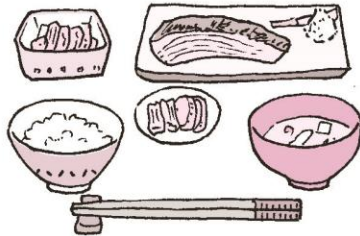


こと ば い み 言葉の意味

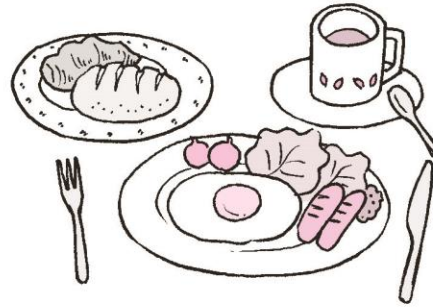
たも おな じょうたい
【保つ】……同じ状態にしておくこと

しょくじ しゅるい
食事の種類

はん ちゅうしん しょくじ
ご飯が中心の食事



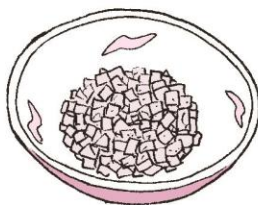
ちゅうしん しょくじ
パンが中心の食事



めん ちゅうしん しょくじ
麺が中心の食事

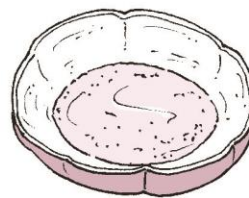


きざ しょく
刻み食



おお たい もの
 大きい食べ物を
 ちい さい きざ
 小さく刻む。

しょく
ミキサー食



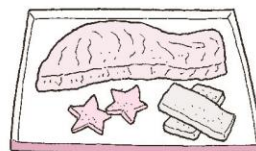
たい もの
 食べ物をミキ
 サーでやわら
 かくする。

しょく
とろみ食



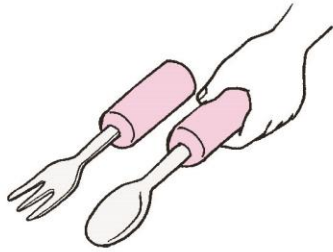
たい もの
 食べ物にとろみ
 をつける。

しょく
ソフト食

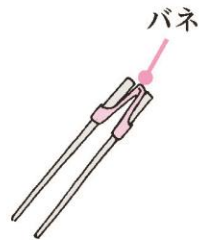


やわらかく、
 いろ ぎたし
 色や形のある
 たい もの
 食べ物。

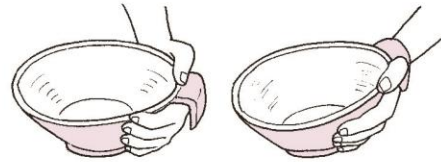
しよくじ つか どうぐ
食事で使う道具



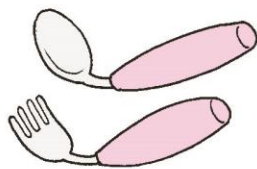
にぎりやすくした
 スプーン・フォーク



バネ
 ついていばし
 バネ付き固定箸



にぎりやすい食器



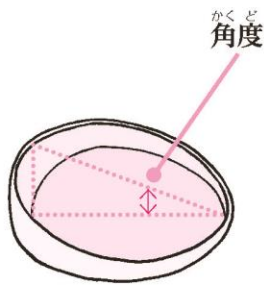
まがりスプーン・フォーク



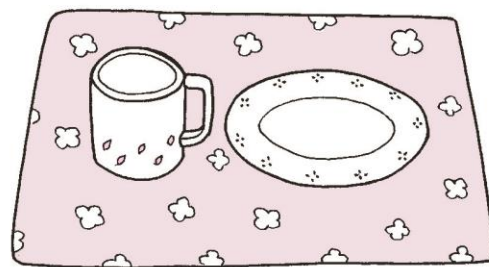
カフベルト
 カフベルト付き
 スプーンホルダー



ホルダー付きコップ



かくど
 角度をつけて食べやすくしたお皿



すべり止めマット

2 食事の介護の流れ

食事の準備から利用者が食べ終わるまで

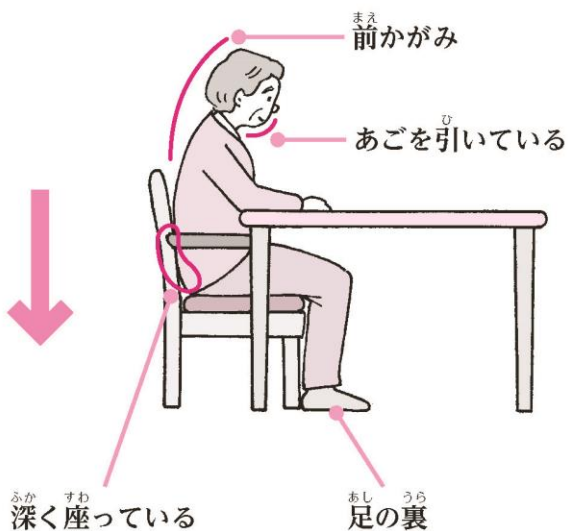
食事を準備する



誤嚥しないように、食べやすい食事をつくりま

利用者が嫌いなもの、食べてはいけないものがないかを確認します。

いすに座った姿勢を確認する



食事の前に、トイレに行行って、手洗いを済ませます。

いすに深く座り、足の裏が床につくようにします。

言葉の意味

【誤嚥】……飲み込むとき、食べ物や飲み物が気管に入ること。このとき、むせが起きる。

【むせ】……気管に食べ物などが入って苦しむこと

【済む】……し終わること

しよくじ かいご はじ
食事の介護を始める



りようしゃ た じゆんぱん かく
利用者が食べたい順番を確認
にん します。

りようしゃ おいしく た べられ
る ように 声 を かけます。



りようしゃ た 食べやすい しせい
姿勢 になっているかを確認しま
す。

ごえん 誤嚥 しないように、の 飲みこ
んだことを確認します。

くち なか た のこ
口の中に食べ物があるとき
に、声 を かけない ように し
ます。

しよくじ かいご お
食事の介護を終える



くち なか た のこ
口の中に、食べ残しがない
かを確認します。

こゝくゝ 口腔ケア

はみが 歯磨き



しょくじ しょくじ しょくじ しょくじ
食事をした後に、口の中を
せいけつ せいけつ せいけつ せいけつ
清潔にする介護をします。

は は は は は は は は
歯と歯の間は汚れやすいの
ちゅうい ちゅうい ちゅうい ちゅうい
で注意します。

い ば ぎし てい 入れ歯 (義歯) の手入れ



そう い ば
総入れ歯



ぶ ぶん い ば
部分入れ歯

しょくじ しょくじ しょくじ しょくじ
食事をした後に、
い ば ば ば ば
入れ歯を洗い、容
き 器に保管します。

ことば い み 言葉の意味

ようき ようき ようき ようき
【容器】……入れ物

ほかん ほかん ほかん ほかん
【保管】……しまっておくこと

Chapter 3

はいせつ かいご 排泄の介護

はいせつ いぎ 排泄の意義

はいせつ い 生きるために必要な水や食べ物ひつよう みず た ものを体の中からだ なかに入れたあと、不要なものふようを体の外からだ そとに出すことです。排泄物はいせつぶつには、便べん、尿にょう、汗あせなどがあります。

はいせつ 排泄がうまくできないと、生きることが難しくむずかなります。失禁しっきんなど排泄が自立りつできなくなると、自信じしんを失くしてしまいます。うまく排泄はいせつができるためには、生活のリズムせいかつ りづむ、習慣しゅうかんに合った排泄はいせつのやり方かたが必要ひつようです。



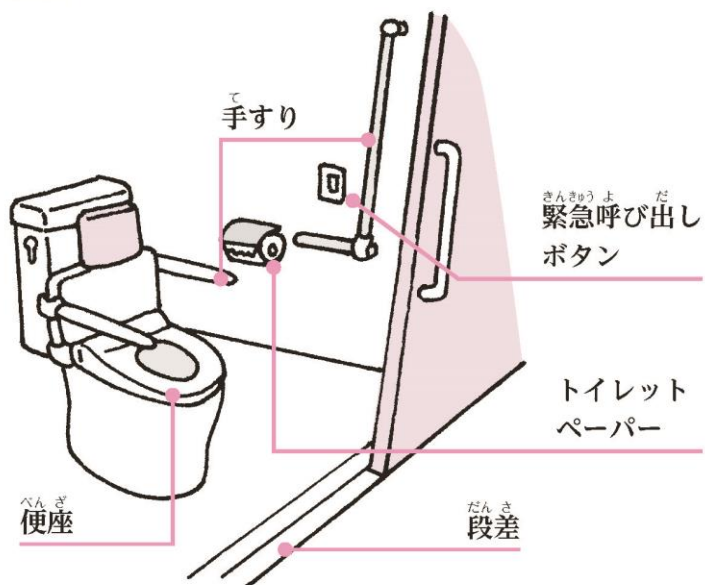
ことば いみ 言葉の意味

ふよう ひつよう
【不要】……必要ではないこと

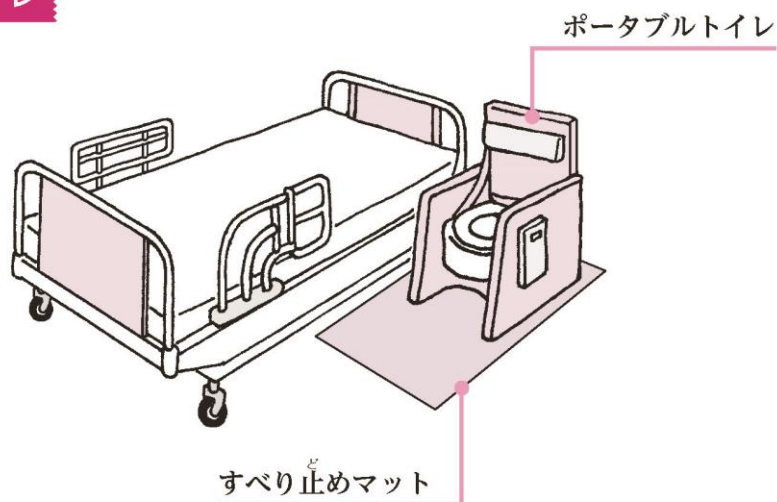
1 排泄の介護に必要な知識

排泄をする環境

トイレ



ポータブルトイレ



はいせつ つか どうぐ
排泄で使う道具

ポータブルトイレ

べん ぎ すわ ひと つか
便座に座ることができる人が使います。



もくせい がた
木製のいす型



プラスチック製

によう き べん き
尿器・便器

ざい あんてい ひと うえ つか
座位が安定しない人がベッドの上で使います。



じょせいようき
女性用尿器



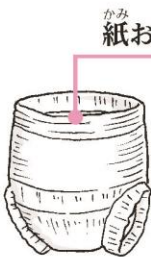
だんせいようき
男性用尿器



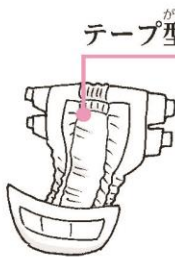
さしこ べん き
差し込み便器

おむつ

じぶん はいせつ ちようせつ ひと つか
自分で排泄の調節ができない人が使います。



かみ
紙おむつ



がた
テープ型おむつ



じょせいよう
女性用パッド



だんせいよう
男性用パッド

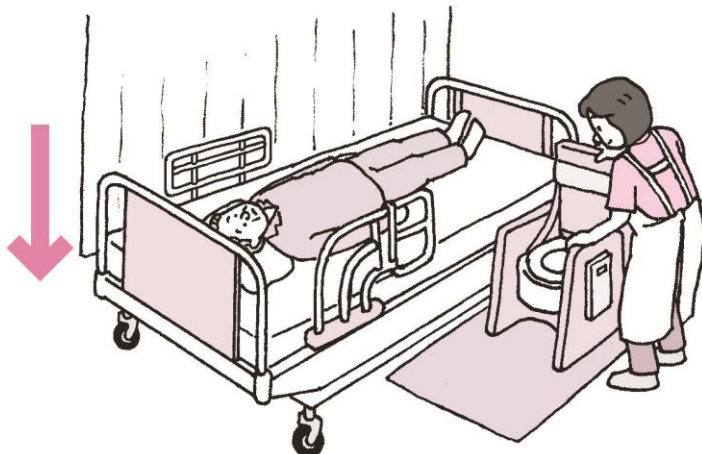
ことば い み
言葉の意味

あんてい へん か あんしん
【安定】……変化がなくて安心できること

2 排泄の介護の流れ

ポータブルトイレを使った排泄の介護

介護の準備をする

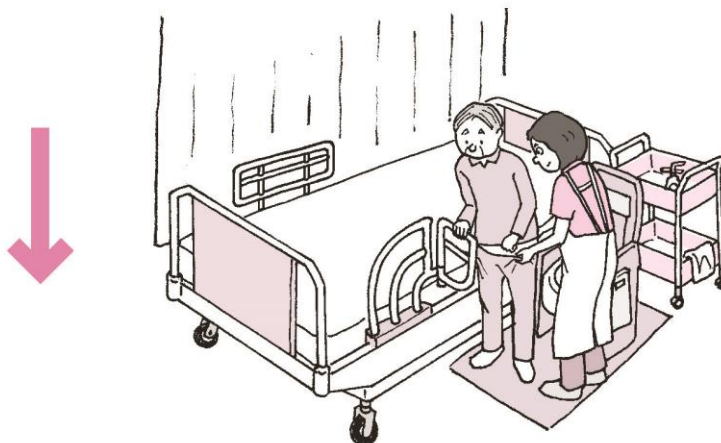


使い捨てエプロンをつけます。

ポータブルトイレを健側の足元に置きます。

換気をして、においがないようにします。

ズボンと下着を下げる



利用者が転倒しないように注意して、立ち上がりの介護をします。

言葉の意味

【使い捨て】……一回使ったら捨てること

【換気】……空気を入れかえること

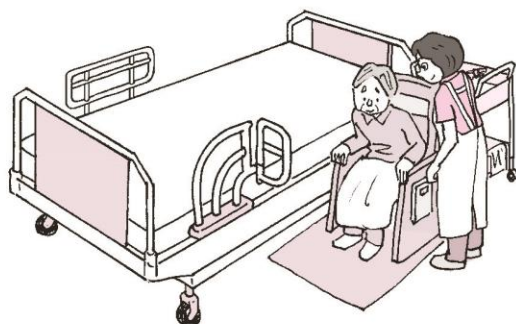
ポータブルトイレに移乗する



ポータブルトイレの位置を確認し、トイレに座る介護をします。

バスタオルで肌が見えないようにします。

排泄してもらおう



力が入りやすいように、前かがみになってもらいます。

排泄中はトイレから離れます。排泄が終わったら、利用者に声をかけてもらいます。

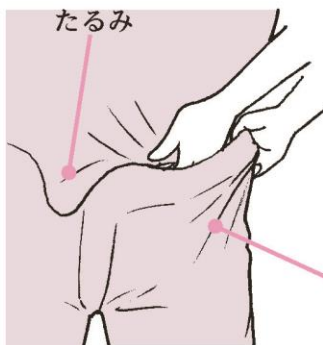
陰部をふく



きちんと排泄できたかを確認します。

陰部をふいてもらいます。手袋をつけて、利用者ができない部分を介護します。

ズボンと下着を上げる



下着や服の、しわ、たるみを整えます。

て
手をふいてもらう



おしぼりなどで手を清
けつ
潔にしてもらいます。

りようしゃ たいちゆう かくにん
利用者の体調を確認し
ます。

はいせつぶつ かんさつ
排泄物を観察する
はいせつぶつ
排泄物を捨てる



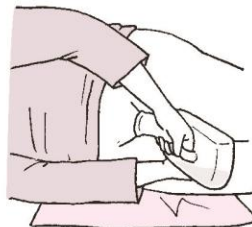
はいせつぶつ いろ かつり りよう
排泄物の色、形、量など
かくにん
を確認します。

ベッドで行う排泄の介護

によう き つか はいせつ
尿器を使って排泄する



じょせい ぼあい
女性の場合



だんせい ぼあい
男性の場合

さ こ べんき つか はいせつ
差し込み便器を使って排泄する



つか はいせつ
おむつを使って排泄する



Chapter

4

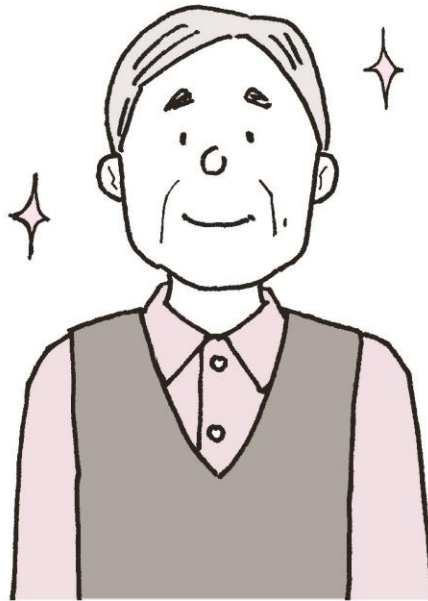
い ふく ちやくだつ 衣服の着脱

(身じたく) の介護

み じたくの いぎ 身じたくの意義

あさ お かも あら は みが じよせい けしやう だんせい
朝起きて顔を洗い、歯を磨き、女性ならお化粧をし、男性ならひげをそり、
もくてき あ ふく きが み みにちじやうせいかつ しやかいせいかつ
目的に合わせて服を着替えます。身じたくは、日常生活や社会生活のいろいろ
かつどう じゆんび かんが
な活動をするための準備と考えてもよいでしょう。

よご かも ふく ほか ひと いや きも
汚れた髪や服は他の人を嫌な気持ちにします。きちんと身じたくすることで、
じしん しやかい さんか
自信をもって、社会に参加することができるようになります。



1 身じたくの介護で必要な知識

身じたくの介護の種類

衣服の着脱



朝起きたときや夜寝るときに、衣服を選ぶ、着る、脱ぐ介護をします。

整容



洗面
朝起きたときに顔を洗う介護をします。



整髪
朝起きたときや入浴した後に、髪の毛を整える介護をします。



顔の清拭
顔をホットタオルでふく介護をします。

つめき
爪切り



て ^{ゆび} 指と ^{あし} 足の ^{ゆび} 指の ^{つめ} 爪が伸びたときは、^{つめき} 爪切りをします。

ひげの ^{てい} 手入れ



シェーバー

^{だんせい} 男性には、^{あさお} 朝起きたときに ^{てい} ひげの手入れをします。

けしょう
化粧



^{けしょう} 化粧をする ^{しゅうかん} 習慣のある ^{じょせい} 女性には、できるだけ ^{けしょう} 化粧をしてもらいます。

いぶく ちやくだつ 衣服の着脱

きが 着替えのタイミング



あさお 朝起きるとき



よるね 夜寝るとき

そとで 外へ出かけるとき



パジャマや下着を着替えます。

シャツ、ズボンなどを着替え、くつ下をはきます。

上着を着替え、靴をはきます。

にほん きせつ あ いぶく 日本の季節に合わせた衣服



はる 春



なつ 夏



あき 秋



ふゆ 冬

なつ あつ あせ
夏は暑く、汗をかきやすい季節です。

ふゆ さむ かんそう
冬は寒く、乾燥する季節です。

ことば いみ 言葉の意味

かんそう すいぶん かわ じょうたい
【乾燥】……水分がなくて、乾いている状態

2 衣服の着脱の流れ

右片麻痺のある利用者の介護

衣服を選ぶ



きょう 今日は何の服に
しますか？



シャツに
しようかな

患側（麻痺
や痛みがあ
る方）

利用者の好みに合わせて、
衣服を選んでもらいます。

利用者が衣服を選べない
ときは、季節や部屋の温度に
合わせましょう。

いすに座る



深く座る

転倒しないように、いすや
ベッドに深く座ってもらい
ます。

足の裏が床についているか
確認します。

上着の着脱の介護



患側から着る



健側（麻痺や痛みが
ない方）から脱ぐ

他の人からできるだけ肌が見えないようにします。

衣服は患側から着て、健側
から脱いでもらいます。でき
るところは見守り、でき
ないところは介護します。

ちやくだつ かいご
ズボンの着脱の介護



かんそく
患側からはく



けんそく
健側から脱ぐ

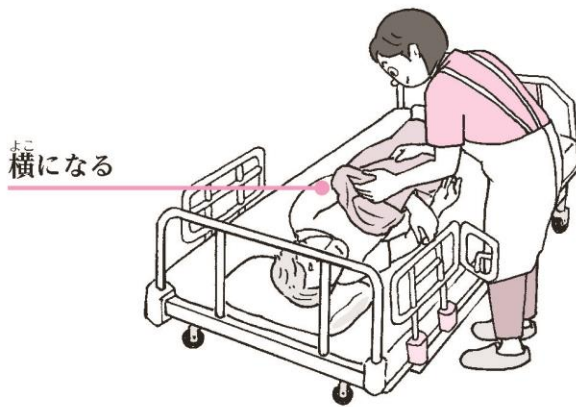
ほか ひと
他の人からできるだけ肌が見えないようにします。

いふく かんそく き けんそく
衣服は患側から着て、健側から脱いでもらいます。できるところは見守り、できないところは介護します。

さいご いふく ととの
最後に、衣服のしわを整えます。

りようしゃ た あ すわ
利用者が立ち上がったり、座ったりできないとき

じょう ちやくだつ
ベッド上での着脱



よこ
横になる

けんそく しな よこ
健側を下にして横になってもらいます。

ほか ひと
他の人からできるだけ肌が見えないようにします。

Chapter
5

にゅうよく しんたい せいけつ
入浴・身体の清潔の
かいご
介護

にゅうよく いぎ
入浴の意義

にゅうよく せいしき からだ せいけつ じょうたい
入浴や清拭は、体を清潔な状態にします。

からだ せいけつ きぶん からだ せいけつ み ととの
体が清潔だと気分もよくなります。体が清潔で身だしなみが整っていると、
あんしん ほか ひと かつどう かんせんしょう よぼう
安心して他の人といっしょに活動することができます。また、感染症の予防、
けっこう けっこう あんみん こうか
血行をよくする、安眠などにも効果があります。



ことば いみ
言葉の意味

ととの
【整っている】……きちんとしている様子

よぼう
【予防】……ならないようにすること

けっこう けつえき なが
【血行】……血液の流れ

あんみん
【安眠】……よく眠ること

こうか
【効果がある】……やくに立つ

1 入浴の介護で知っておく知識

入浴の環境

入浴後は、浴室と脱衣室を換気します。

浴室

脱衣室

浴室と脱衣室の温度を同じにします。

浴室と脱衣室の段差で転倒しないように注意します。

手すり

ふか

深さ

段差

浴そうの湯の温度が高いと(42℃以上)危険です。

浴そう

緊急呼び出しボタン

床

床がぬれているので、転倒しないように注意します。

入浴の介護で使う道具

浴そうに入るときに使う

バスボード

シャワーチェア

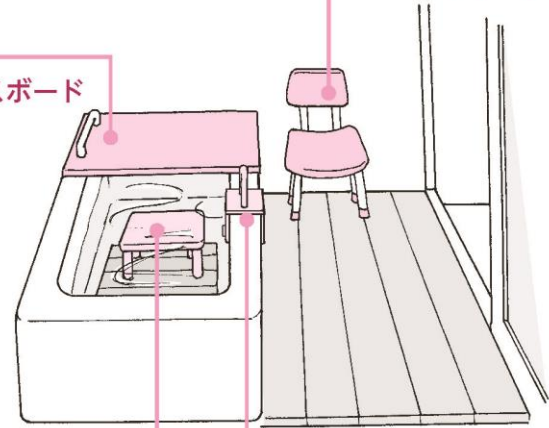
体を洗うときに座る

浴そうの中で座る

浴そう内いす

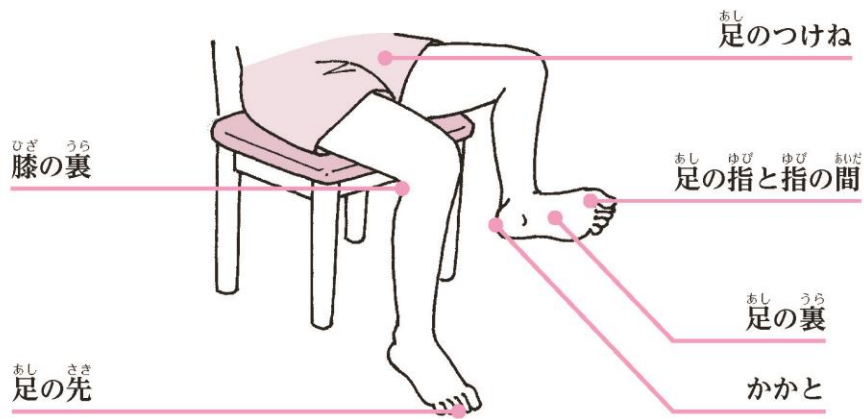
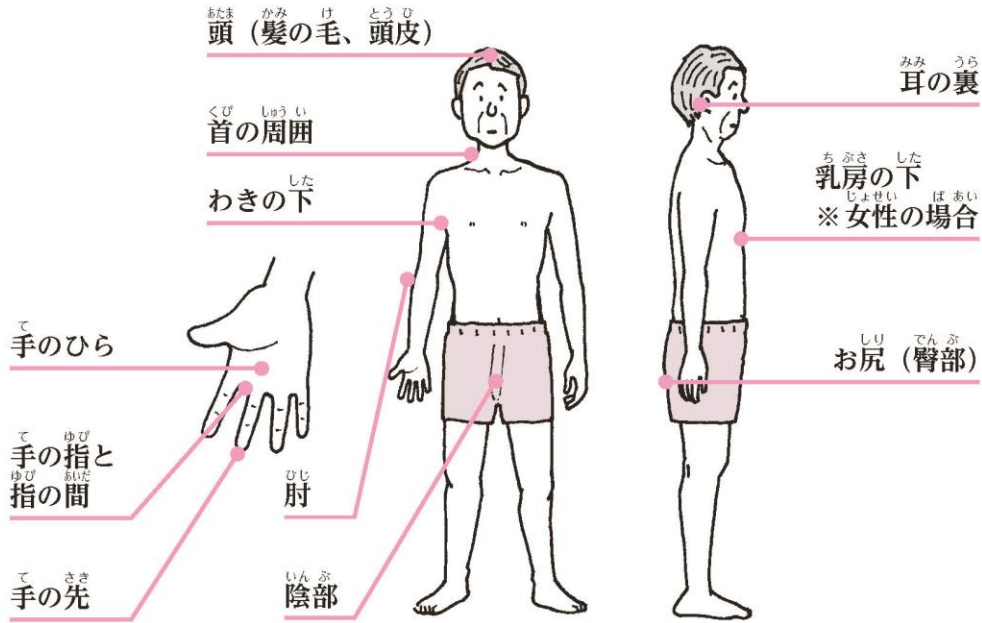
浴そう用手すり

浴そうに入るときに、手でつかむ



にゅうよく かんけい からだ
入浴に関する体

よご からだ ぶ ぶん
汚れやすい体の部分



2 入浴の介護の流れ

脱衣室で行う介護

衣服の着脱 (入浴前・入浴後)

衣服は、健側 (麻痺や痛みがない方) から脱いでもらいます。

衣服は、患側 (麻痺や痛みがある方) から着てもらいます。

肌の露出に注意して、プライバシーを守ります。

浴室で行う介護

体にシャワーをかける



はじめに、介護職が湯の温度を確認します。

利用者の手の先で、湯の温度を確認し、足の先から湯をかけます。

体を洗う



自分で洗えないところは、介護職が洗います。

汚れやすい部分は残さず洗います。

言葉の意味

【露出】……隠れないで、はっきり見えること

とうひ かみ け あら
頭皮 (髪) を洗う



ゆび はら あら
指の腹で洗います。

よく おこな かい ご
浴そうで行う介護

よく はい よく で
浴そうに入る、浴そうから出る



けんそく あし よく はい
健側の足から浴そうに入っ
てもらいます。

かんそく あし よく で
患側の足から浴そうを出て
もらいます。

にゅうよく あと おこな かい ご
入浴した後に行う介護

ドライヤーで髪を乾かす



ドライヤーの風が熱くない
かを確認します。

みず の
水などを飲んでもらう



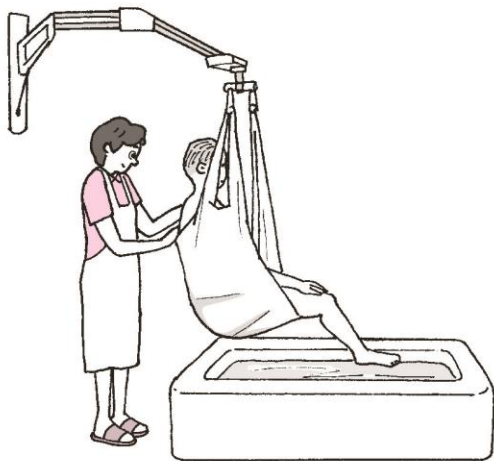
みず ちみ の
水やお茶などを飲んでもら
い、脱水を予防します。

よく 浴そうに はい 入ることができない利用者 の かいご 介護

すわ 座った姿勢で 入浴する



つか リフトを使って 入浴する



ね 寝た姿勢で 入浴する



3 入浴以外の体を清潔にする方法

● 病気やけがなどで、入浴ができないとき、入浴以外の方法で利用者の体をきれいにし、気持ちがよくなるようにします。

手浴

湯で手を洗います。



足浴

湯で足を洗います。



清拭

タオルで体をふきます。



ドライシャンプー

湯を使わないで汚れをとります。

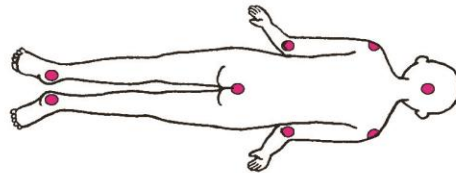
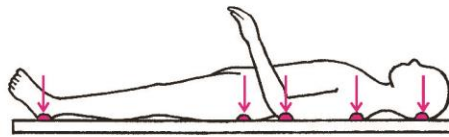


言葉の意味

【以外】……他

4 褥瘡の予防

- 褥瘡は、寝たきりなどで、体に力がかかり、血液の流れが悪くなることで皮膚が赤くなったり、傷ができることです。
- 褥瘡は、「床ずれ」とも言います。
- 褥瘡は、できると治りにくいので、つくらないようにします。



力がかかりやすい場所

||

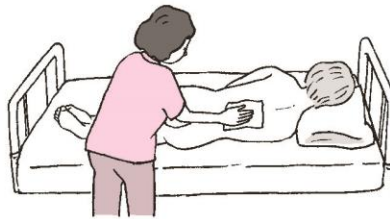
褥瘡ができやすい場所

病気や障害などで、自分で体位が変えられないと、同じところに力ががかかります。

長い時間、外から体に力がかかり、血液の流れが悪くなると、褥瘡ができます。

褥瘡をつくらないために

入浴や清拭をして、皮膚をきれいにします。



いろいろな栄養がとれる食事をして、体の調子をよくします。



体の同じ場所に、長い時間、力がかからないように、体位を変える介護をします。

索引

あ

あおむけ (仰臥位) 31

あせ 汗 40, 49

あんてい 安定 42

あんみん 安眠 52

いし 医師 5

いしき 意識 12

いじょう 移乗 33

いどう 移動 28

いふく 衣服 47

いりょう 医療 5

いば 入れ歯 (義歯) 39

うがい 7

えいよう 栄養 34, 59

おう吐 7

おむつ 42

おんど 温度 50, 55

か

かいごし えんせんもんいん 介護支援専門員

(ケアマネジャー) 5

かいごふくしし 介護福祉士 5

かいごじこ 介護事故 6

かくにん 確認 21

かたまひ まひ 片麻痺 (麻痺) 14, 31, 50

かてい 過程 4

からだ 体

にんげん からだ 人間の体 10

からだ へんか 体の変化 13

しょくじ かんけい からだ 食事に関係する体 34

にゅうよく かんけい からだ 入浴に关系する体 54

かんき 換気 43, 53

かんきよう 環境

いどう かんきよう 移動をする環境 29

はいせつ かんきよう 排泄をする環境 41

にゅうよく かんきよう 入浴の環境 53

かんごし 看護師 5

かんせんしやう 感染症 7

かんせんげん しゆるい 感染源の種類 7

かんそく 乾燥 49

かんそく 患側 31

かんり えいようし 管理栄養士 5

きが 着替え 46

きざ しょく 刻み食 35

ぎし いば 義歯 (入れ歯) 39

きせつ 季節 49

きぼう 希望 2

きゆうよう 休養 9

ぎやうが い 仰臥位 (あおむけ) 31

きやうしんしやう 狭心症 14

まくか しゆつけつ くも膜下出血 14

くるま 車いす 30

ケアマネジャー

かいごし えんせんもんいん (介護支援専門員) 5

けが 16

けしやう 化粧 46, 48

けつあつ 血压 12

けつえき 血液 7

げり 下痢 7

けんこう 健康 9, 34

けんこうかんり 健康管理 9

げんごしやうがい 言語障害 17

げんごちやうかくし 言語聴覚士 5

けんそく 健側 50

こうくう 口腔ケア 39

こうれいしや 高齢者 14, 15

ごえん 誤嚥 6, 37

こきゆう 呼吸 12

コミュニケーション 20

さ

ざい 座位 42

さぎやうりやうほうし 作業療法士 5

ジェスチャー 23

しえん 支援 2, 5, 16

しかくしやうがい 視覚障害 16, 23

じこ 事故 6, 24

しごと 仕事 24

しせい 姿勢 4, 28, 31, 32, 33, 37

したいふ じゆう 肢体不自由 16

しっきん 失禁 40

しゆうかん 習慣 40

しゆうへんしやうじやう 周辺症状 19

しゆよく 手浴 58

しゆわ 23
 手話
 じゆんび 46
 準備
 しょうがい 16, 17, 18, 23
 障害
 しょうじょう 14, 15, 18, 19
 症状
 じょうたい 9, 12, 15, 22, 23
 状態
 じょうほう 3, 25
 情報
 しょくじ 4, 5, 28, 34-39
 食事
 ーの種類 35
 じよくそう 59
 褥瘡 (床ずれ)
 しょくどう 4, 29
 食堂
 じりつ 2, 16, 40
 自立
 じりつしえん 2
 自立支援
 しわ 44, 51
 しんきんこうそく 14
 心筋梗塞
 しんしつかん 14
 心疾患
 すいぶん 15, 49
 水分
 すいみん 9
 睡眠
 せいかつ 2, 5
 生活
 せいかつじかん 34
 生活時間
 せいけつ 39, 45, 52
 清潔
 せいしき 47, 52, 58, 59
 清拭
 せいしんしょうがい 17
 精神障害
 せいはつ 47
 整髪
 せいよう 47
 整容
 せき 7
 咳
 せつ 8
 石けん
 せつめい 22, 23
 説明
 せんたく 28
 洗濯
 せんめん 47
 洗面
 そうこう 33
 走行
 そうじ 28
 掃除
 そうだん 4, 9, 25
 相談

そうだんいん 5
 相談員
 そくがい 31
 側臥位
 そくよく 58
 足浴
 ソフト食 35
 そんげん 2, 3
 尊厳
 た
 たいい 59
 体位
 たいおん 12
 体温
 たいちよう 12, 45
 体調
 たあ 32
 立ち上がり
 たっすい 15, 56
 脱水
 たもの 4, 5, 28, 34-39
 食べ物
 たるみ 44
 だんさ 29, 41, 53
 段差
 たんざい 31, 32
 端座位
 ちてきしょうがい 17
 知的障害
 ちのう 17
 知能
 ちやくだつ 47, 49-51
 着脱
 ちゅうかくしょうじょう 18
 中核症状
 ちようかくしょうがい 17, 23
 聴覚障害
 ちようりし 5
 調理師
 つえほこう 32
 杖歩行
 つかす 7, 43
 使い捨て
 つめき 48
 爪切り
 て 29, 32, 41, 53
 手すり
 てあらかた 8
 手の洗い方
 てぶくろ 7, 44
 手袋
 てんとう 6, 29
 転倒
 てんらく 6
 転落
 トイレ 41
 どうい 22
 同意

どうぐ 30
 移動で使う道具
 しょくじ 36
 食事で使う道具
 はいせつ 42
 排泄で使う道具
 にゅうよく かいご 53
 入浴の介護で使う道具
 とこ 59
 床ずれ (褥瘡)
 しょく 35
 とろみ食
 な
 にゅうよく 28, 52-57
 入浴
 によう 7, 15, 40
 尿
 にんちしょう 18
 認知症
 は
 はいえん 14
 肺炎
 はいせつ 40-45
 排泄
 バイタルサイン 12
 はつねつ 7
 発熱
 べん 7, 15, 40
 便
 へんか 13
 変化
 べんび 15, 40
 便秘
 ふくしょうぐ 9
 福祉用具
 プライバシー 3
 ベッド 30
 ほうこく 6, 24
 報告
 ほんかん 39
 保管
 ほこう 32
 歩行
 しえんきぐ 30
 ー支援器具
 ポータブルトイレ 41, 42
 ボディメカニクス 9

ま

まえ
前かがみ 37, 44

ま ひ かた ま ひ
麻痺 (片麻痺) 14, 31, 50

まんせい か
慢性化 14

しよく
ミキサー食 35

み
身じたく 46, 47

み
身だしなみ 52

みまも
見守り 32, 50, 51

みやくはく
脈拍 12

めまい 15

や

やけど 6

ようつう
腰痛 9

よぼう
予防 6, 7, 52, 59

ら

りがくりようほうし
理学療法士 5

りつい
立位 32

リハビリテーション 5

りようしゃしゆたい
利用者主体 2,

れんらく
連絡 25

ろうか
老化 13, 14

この教材は、平成29年度 厚生労働省 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金
(社会福祉推進事業分) の一環として作成されたものです。

技能実習制度(介護職種)入国後講習用教材

平成30年1月発行

一般社団法人シルバーサービス振興会

〒105-0003

東京都港区西新橋3-25-33 NP御成門ビル6階

TEL 03-5402-4880 FAX 03-5402-4884